

中国のVR市場

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

<要約>

中国のVR市場規模は、わずか4年で5倍近くまで拡大している。当初はVRゴーグルなどのハードウェアが占めていたが、徐々にソフトウェアやサービスへと市場は広がっている。VR・ARの商用サービス市場では、一般消費者向けサービス、建築、小売、教育の四大領域が市場の過半数を占めるようになるとの予測もある。

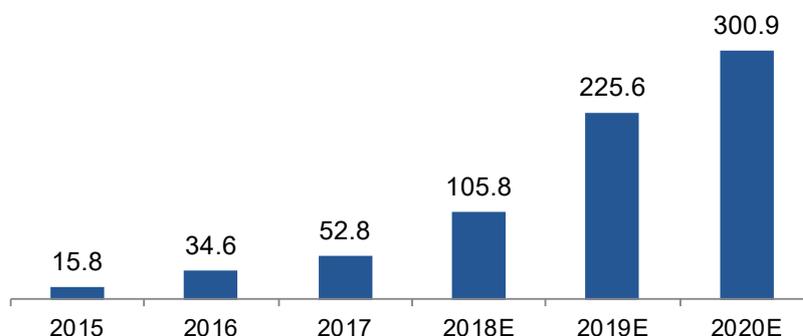
中国でもVRの応用は進んでいるが、特に好調なのがVRゲームだ。中国企業によるゲーム開発が盛んにおこなわれており、大型の専門体験施設も各地に作られている。また教育分野では、医師の外科トレーニング、子供の学習教材、工場での技術習得などで利用が広がっている。一般消費者向けでは、レストランやホテルの予約サービスに活用されているほか、旅行のプランニングでも利用され始めている。

1. 市場規模は急拡大

中商産業研究院によると、中国のVR市場規模は2015年にわずか15.8億元だったが、2019年は225.6億元、2020年には300.9億元に拡大する見通しだ。

2015-2020 中国VR市場規模予測

(億元)



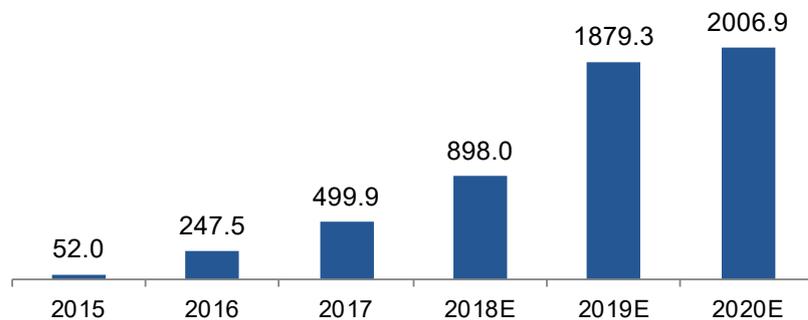
Source: 中商産業研究院2019

2015 年は市場の大半が VR ゴーグルをはじめとするハードウェアで占められていたが、ソフトウェアの市場規模は年々拡大しており、2020 年にはソフトウェアが市場の 3 割を占めるとの予測もある。

ユーザー数は 2015 年の 52 万人から一気に増えて、2019 年には 1879.3 万人となり、2020 年には 2000 万人を突破すると予想されている。

2015-2020 中国VR市場ユーザー数予測

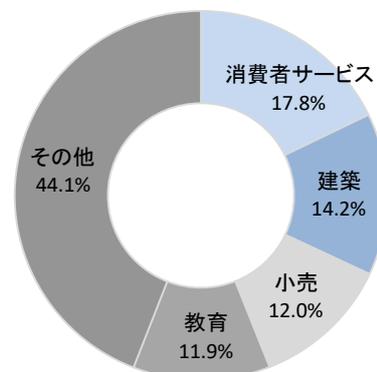
(万人)



Source: 中商産業研究院2019

VR および AR の商用領域は多岐に渡るが、このうち最も活用されるのが消費者サービスで、特に VR/AR ゲームの市場は 2023 年に 95.9 億米ドルに達する見通しだ。さらに教育・トレーニングの分野では 27.5 億米ドル、小売では 21.4 億米ドル、工業・メンテナンスでは 16.2 億米ドルの市場が生まれると期待される。

2023年 中国VR/AR商用領域予測



Source: IDC中国 2019

2. 中国のVR 応用例

● VR ゲーム

中国では2016年10月にPlayStation VRの中国版が発売されたことを機に、様々なゲームメーカーが専用ヘッドセットやVRゲームを発表している。現在はスマートフォンを使ったVRゲームはもちろん、VRゲーム専門の体験施設も各地にでき、身近な娯楽の一つになっている。VRゲームの体験施設は、大きな躯体のゲーム機が複数ある大型施設から、学校そばの小さな商店が数個のVRゴーグルを用意してやっているようなものまで様々ある。



VRゲームセンターをチェーン展開するNINEDの中規模店では7台のゲーム機を配置。半年ほどで初期投資が回収できるという。

● 医療

欧米では医師の外科トレーニングのほか、患者の心理ケア、ペインマネジメント、リハビリ、遠隔医療等に活用されているが、中国では外科トレーニングと心理ケアでの活用が多く、特に投資が集まるのは精神疾患治療に関するVRソリューションだ。医師向けVRトレーニング教材を手掛ける天堰科技(TELLYES)が2015年7月に上場したのを



<http://news.expoon.com/c/20180727/21686.html>

機に医療VR領域への投資が盛んになった。この3年ほどの間に妙智科技が数百万円、医微訊が数千万元、衆絵科技が数千万元それぞれ資金調達に成功している。

● 映画

毎年開催されているVR映画祭「青島国際VR映像週」には、中国人監督によるVR映画も多数出品されている。VR映画といっても今のところは世界的にも5~30分程度の作品がほとんどだ。網易が2016年に制作したオリジナル映画「人工知能」では76分の通常版に加えて、10分ほどのVR版が制作された。

VR 映画はインターネット等からダウンロードして 1 人で視聴するスタイルが主流だが、広いスペースに数十人が VR ゴーグルをつけて座り、同時に映画を見る「VR 映画館」では、耳東 VR 影庁が知られている。VR 映画館は全国に 50 以上あるといわれる。



1 部屋に 20 台の椅子が並ぶ耳東 VR 影庁

● コンサート・イベント

中国では 2016 年から王菲(フェイ・ウォン)、テレビ番組をきっかけに人気となった譚維維(タン・ウェイウェイ)、元 EXO メンバーの鹿晗(ルハン)等が、コンサートの映像を VR コンテンツとして配信した実績がある。2018 年夏には日本でも著名なテレサ・テンの過去のコンサートを VR 化した作品が公開されている。またバーチャルアイドルやアニメキャラクターのイベントも VR コンテンツとして配信されている。



過去のコンサートの映像を VR 化した作品

● 党教育

共産党の党員に対する教育にも VR が採用されている。高級幹部の養成機関である中国共産党中央党校や党組織、党委員会向けの VR 教材で、具体的には党の歴史や知識、国家の政策・戦略、科学技術に関する学習や、党にゆかりのある景勝地のバーチャル参観等に用いられているという。



歴史上の出来事を VR で追体験できるという

● 飲食・レストラン

GoogleMap の調べによると、飲食店を予約する際に店内の VR 映像を確認する人は 84% に上るといふ。すでに多くのレストランが、アプリで店内や個室の様子がわかる VR

映像を用意している。VR といっても、Google ストリートビューのインドアビュー(屋内版)のようなもので、スマートフォンや WEB で見ることができる。なかには微信(WeChat)のミニアプリなどを通じて VR 映像からメニュー検索や直接予約ができるサービスを採用している飲食店もある。



VR レストラン予約アプリ「VR 客商通」の画面

● 交通安全教育

ドライバーや子供向けに VR を使って交通安全教育をするもので、飛び出しや衝突事故のほか、酒酔い運転や疲労運転などの感覚が体験できるものもある。運転体験の場合は VR ゴーグルと簡易的なハンドルを用いた体験が一般的だが、運転席付きの躯体で本格的な体験ができる装置を用意している自動車学校もある。



酒酔い運転の感覚を体験することができる

● 学校教育

VR を使った体験型学習教材は、幼児教育から高等教育まで様々なものがある。小中学生向けでは、数学や理科の難しいポイントを立体的な画像で説明して理解を助ける目的の教材が多い。学校や学習塾向けに、スマート黒板、教師用 PC、生徒用 VR ゴーグル、VR 教材一式をセットにした VR 教室ソリューションを提供する事業者も出てきている。

VR ゴーグルを使って勉強する子供たち
<https://www.chinavrway.com>

● 裁判

各地の地方裁判所では VR を使った証拠調べ手続きが導入されている。北京市第一中级人民法院では、事故の目撃者が VR ゴーグルをつけて、事故現場の映像の中で位置を

指し示したり、状況を説明したりすることが認められている。VR ゴーグルの映像は裁判所の大画面モニターにも映し出され、裁判官らも一緒に確認することができる。裁判所では数年前からオンライン審理やオンラインでの証拠提出が認められており、VR を使った裁判の生配信やオンライン傍聴システムを導入する地方裁判所もある。



VR ゴーグルをつけた証人が現場を説明する
https://www.xianjichina.com/special/detail_307810.html

● 旅行

旅行分野では、実際に現地を訪れる代わりに VR で観光を楽しむよう多くの景勝地や観光施設が VR 用の動画を用意している。また旅行会社では、プランニング時に観光地やホテルを VR で事前に確認する、あるいは旅行先の季節ごとの映像を見て旅行する時期の参考にするといった使い方をしている。

また観光施設ではリピーター客を呼ぶために VR 体験施設を導入するケースが増えており、遊園地の上海歡樂谷(Happy Valley)には VR お化け屋敷が登場した。黄山風景区、海南三亜鹿回頭などの景勝地でも VR 体験館を新たに建設して、エリア内の歴史や言い伝えが楽しめる VR プログラムを提供している。



上海浦東濱江の VR 旅行案内マップ

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は 2019 年 8 月 26 日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のビジネスコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

sales@clara.ad.jp または +81(3)6704-0777(代表)